令和８年度第２回 札幌方面室蘭警察署協議会議事概要

１　開催日時

令和８年10月15日（木）午前10時30分から午前11時30分まで

２　開催場所

室蘭警察署　大会議室

３　出席者

⑴　協議会委員　６人（定員10人）

会長	山田春美		
副会長	千葉一美		
委員	中野茂樹	高橋雅人	稲葉雅幸
	大内拓海		

⑵　警察署員　７人

署長	鈴木琢哉	副署長	千島孝洋
刑事・生活安全官	片野隆一	地域・交通官	吉田勝彦
登別交番所長	大橋博秀	警務課長	寺澤典晃
警務係長（事務局）			

４　会長挨拶

本日の協議テーマは、匿名・流動型犯罪グループ対策となっております。テレビを見ていると、トクリュウという言葉をよく耳にしますが、日本の治安にとって何が脅威となっているのか、また私たち住民はどんなことに気をつけていればよいのかなど、いろいろと教えていただきたい。どうぞよろしくお願いします。

５　署長挨拶

本日の協議テーマは、近年、いわゆる闇バイトで実行役を募り、特殊詐欺や強盗・窃盗などを敢行している犯罪集団、匿名・流動型犯罪グループ、通称トクリュウの対策についてです。

本協議会を通じて皆様から忌憚のない御意見を頂戴し、当署の業務運営に反映させてまいりたいと存じますので、短い時間ではございますが宜しくお願い申し上げます。

６　業務概況説明

⑴　令和８年９月末における管内の犯罪、交通事故の発生状況等について説明した。

⑵　質疑・応答

委員：今朝の新聞で、万引きの発生が高止まりとなっている記事を見かけた。
何故、減少しないのか。

警察：減少しない一つの要因は､検挙されても再犯を繰り返す者が多いと見ている。
カウンセリング等も含めて、社会全体で取り組む必要がある。

７　協議テーマ「匿名・流動型犯罪グループの現状と対策について」

⑴　協議テーマの説明

ア　トクリュウ（匿名・流動型犯罪グループ）とは

イ　従来の「暴力団」との比較

ウ　トクリュウと暴力団の「裏のつながり」

エ　特殊詐欺の手口・現状

オ　北海道警察の取組

カ　闇バイト対策について

キ　被害に遭わないために心がけること

ク　警察庁作成資料の紹介
（～闇バイトで人生を棒に振らないために知っておくべき５つのこと～）

⑵　質疑・応答

委員：先ほど説明いただいた犯罪等の発生状況に中に、このトクリュウの犯罪も含まれているのか。

警察：特殊詐欺に関していえば、大半がトクリュウによるものとみている。

委員：特殊詐欺の被害者は高齢者が多いのか。

警察：オレオレ詐欺が主流であった頃は、高齢者の比率が高かったが、現在はＳＮＳ型投資詐欺やロマンス詐欺、ニセ警察官詐欺が主流となり、世代関係なく、若い人も被害に遭っているのが現状である。

委員：特殊詐欺に関して、「自分は大丈夫です」と自信満々に話される人がいるが、そういう人ほど危ないと思う。先ほどの警察の説明で、今年の被害は過去最悪であった昨年を大幅に上回るペースで増加していることが理解できたので啓発をする上で参考にしたい。

８　委員からのリクエストに応じたミニ教養

⑴　自動車の法定速度引下げに関する教養

⑵　質疑・応答

委員：知人から、「生活道路の30㎞/h規制って何」と聞かれても、これまでうまく答えられなかったが、今日のミニ教養は内容がわかりやすく、知人にも説明できる程度に理解できた。ありがとうございました。

９　質疑応答等

その他、警察署協議会全般を通じて、意見、質問等を呼びかけたが、各委員から質疑等は無し。

10　次回の協議テーマ

次回の協議テーマに関する意見は出ず、事務局に一任する旨で一致したため、事務局で検討してテーマを設定する旨周知した。

11　自動音声案内システム導入に関する御案内

令和８年10月14日（水）午前11時0分から、室蘭警察署に自動音声案内システムが導入され、運用が開始されたことについて概要及び自動音声案内選択要領等を説明し周知を図った。

12　次回の開催日

令和９年１月中に開催する方向で検討中であるが、詳細な日程については調整の上決定する旨周知した。